オンライン会議システムとAIビジネス
Zoomが巻き起こした波紋の教訓

JCA-NETセミナー

2023/9/29

小倉利丸
toshi@jca.apc.org

経緯

- 2023年3月　Zoomはサービス利用規約を全面的に改訂機械学習や人工知能のトレーニングのために会議室を利用するユーザのデータを使用する権利があると明記。
- 2023年8月　このことに気づいた人達が問題視。多くの批判がまきおこる。
- 批判をきっかけに、Zoomは規約を再改正。データをAIなどの訓練には利用しないと明記。
- その一方ででZoomは9月に入って有償プランの顧客を対象にAIツールZoom AI Companion（これまでZoom IQと呼ばれていたもの）を提供すると発表
- 日本の場合も、2023年3月11日付けでサービス規約が改訂され、更に8月11日に再改訂。

背景にあるのは ...

- 利用規約をほとんどの利用者は読まないために、半年近く発覚しなかった。
- 8 月の発覚後も、日本のようにほとんど問題視されない場合がある。こうした国では、利用規約を企業の都合にあわせて、容易に変更できてしまう。
- ポストパンデミックによるリモート離れと Zoom の焦り。
- リモートワーク支援サービスの企業が、生成 AI の導入競争に参入し競争力や収益強化に乗り出す。

背景にあるのは..

Zoomは3月の規約改正と同時に、OpenAIの機能を用いて生成AIをつかった新機能として、会議の要約などを追加した。
(右：https://ascii.jp/elem/000/004/130/4130325/)

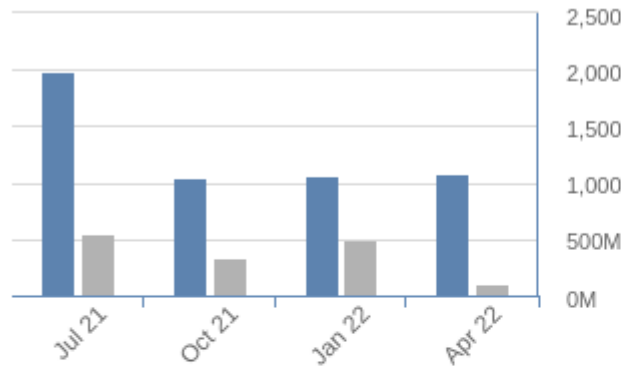
ZOOMは3月27日、ウェブ会議サービス「Zoom」に生成AIを使った新しい機能を追加すると発表した。「ChatGPT」などで知られるOpenAIの技術を活用。4月から招待制で提供を開始する。

会議の要約やチャットの下書きなどに対応

今回追加が発表された機能は以下の通り。

ウェブ会議関連の機能

ウェブ会議には、遅れて参加した際にそれまで話されていた内容を要約してくれる機能や、テキストプロンプトに基づいたホワイトボードの作成機能、ウェブ会議終了後に内容を自動で要約してチャットに投稿する機能などが追加される。

背景にあるのは . . .

期間の終わり:	2022年04月30日	2022年01月31日	2021年10月31日	2021年07月31日
総収入	1073.8	1071.38	1050.76	1977.73
売上総利益	811.98	814.03	779.8	1451.48
営業利益	187.06	251.82	290.86	520.91
当期純利益	113.66	490.64	340.38	544.62

https://web.archive.org/web/20220706151555/https://jp.investing.com/equities/zoom-video-communications-financial-summary

期間の終わり:	2023年07月31日	2023年04月30日	2023年01月31日	2022年10月31日
総収入	1138.68	1105.36	1117.8	1101.9
売上総利益	872.12	841.42	823.45	831.23
営業利益	177.62	9.74	-129.89	66.51
当期純利益	181.97	15.44	-104.05	48.35

https://jp.investing.com/equities/zoom-video-communications-financial-summary

背景にあるのは ...

- リモート会議に参加している人々のプライバシーや言論の自由よりも生成 AI 活用を優先
- 会議が民主主義的な討議の基本的な前提条件であること踏まえたとき、営利目的の企業による会議サービスがもたらしうる問題について、利用者である私たちはより大きな関心をもつ必要がある

Zoomの規約改正とは

22年12月30日と23年3月31日の規約を比較すると、全面的な改訂がなされていることがわかる。

営業担当へのお問い合わせ　無料でサインアップ

Zoom サービス規約

最終改訂日: 2022年12月30日

以下は重要な内容です。よくお読みください。Zoom Video communications, Inc.（以下「Zoom」）のウェブサイト、プロダクト、サービス、関連ソフトウェア（総称して「本サービス」）の使用および同サービスへのアクセスは、本規約の遵守および承諾を条件とし、これにはお客様のクレームを仲裁することへの同意も含まれます。承諾する前に充分に内容に目を通してください。

「同意する」ボタンをクリックした、「同意する」ボックスにチェックマークを入れた、Zoom ウェブサイトにアクセスした、または Zoom サービスを利用した時点で、本サービス規約、付属書、注文フォーム、組み込まれたポリシー（以下「契約」または「TOS」）により拘束されることに同意したと見なされます。本サービス規約による拘束を受ける法的資格がない人物は、Zoom サービスを利用できません。

本契約に従って、Zoom は本サービスを提供し、お客様は本サービスにアクセスし、使用できます。Zoom は、その関連会社のいずれかを通じて本サービスを提供できます。オンライン登録ページまたは注文フォーム（以下それぞれを「注文フォーム」）を通じて本サービスを注文する場合には、注文フォームに、注文している本サービスに関する追加の規約や情報が含まれていることがあります。お客様が使用することを選択した特定の本サービスに適用される、上記追加規約に明示的に別段の定めがある場合を除き、お客様による当該本サービスの使用に関連して、上記追加規約がこの記載により本契約に組み込まれます。

システム要件。本サービスの使用には、互換性のあるデバイスが 1 台以上、インターネット アクセス（有料の場合あり）、および一定のソフトウェア（有料の場合あり）が必要であり、場合によっては更新またはアップグレードを行う必要があります。本サービスの使用はハードウェア、ソフトウェア、およびインターネット アクセスに影響を与えるため、本サービスにアクセスし、使用するためのお客様の権限がこれらの要素のパフォーマンスに左右される可能性があります。高速インターネット アクセスが推奨されます。お客様は、上記システム要件（ときどき変更される場合あり）がお客様の責任であることを承認し、これに同意するものとします。

1. **定義。** 本契約には以下の定義が適用され、単数形への言及は複数形への言及を含み、複数形への言及は単数形への言及を含むものとします。サービスの具体的な定義は、https://explore.zoom.us/ja/services-description/ にあるサービス説明書に記載されています。

   「**関連会社**」とは、当事者に関して、直接的または間接的にコントロールする対象事業体が、当事者によりコントロールされ、または当事者と共通のコントロールの下にあることを意味します。本契約で「支配」とは、50% 以上の経済的もしくは議決権的利害、またはかかる経済的もしくは議決権的利害がない場合には、当該事業体の経営の方向性を指示するか、または指示させ、当該事業体の方針を設定する権限を意味します。

営業担当へのお問い合わせ　無料でサインアップ

Zoom サービス規約

発効日: 2023年3月31日

このサービス規約（以下「**サービス規約**」）および Zoom サービスの説明（本「**契約**」と総称）を細部まで熟読してください。本契約を取り交わす当事者は、お客様と Zoom Video Communications, Inc. およびその関連会社（以下「**Zoom**」、または「**当社**」、「**私たち**」）であり、本契約はお客様によるサービスおよびソフトウェアへのアクセス、およびお客様によるサービスおよびソフトウェアの使用に適用されます。お客様はお客様ご自身として、または法人の代表者として本契約を締結できます。お客様が法人を代表して本契約を締結する場合、お客様は、自らが正当な権限により本契約で該当する法人を拘束する権限を持つ代理人であることを表明したこととなります。本契約では、「**お客様**」および「**お客様の**」という表現はすべて、個人として、代表者が代理人として行動している法人として本契約を受諾する者を指します。本契約書に大文字で記載されている用語は、以下の「Zoom サービスの説明」またはセクション 34 の該当部分で規定されているとおりの定義が当てはまるものとします。

当社は場合により、Zoom Video Communications, Inc.または関連会社、あるいはその両方を通じて、本サービスおよびソフトウェアを提供します。お客様は本契約の条件に準拠し、かつ本契約の条件を遵守する場合に限り、本サービスおよびソフトウェアを使用できます。

この契約は、次のような特に重要な条件を含め、さまざまな条件を規定しているため、細部まで熟読してください。（i）セクション 27 では、お客様と Zoom が特定の訴えを裁判ではなく仲裁によって解決するものとすること、およびお客様は Zoom に対する集団訴訟を起こさないものとすること、（ii）セクション 12 および 14 では、定期サブスクリプションの料金と自動更新に特定の規約および条件が適用されること、（iii）セクション 15 では、Zoom はこの「サービス規約」ならびに当社の「サービスの説明」に対し変更、削除、および追加できること、および（iv）セクション 26 では、お客様が、特定の損害からの回復に関する Zoom の責任を免除し、かつ特定の損害からの回復に関するお客様の権限を放棄すること。お客様は、お客様が本契約書の規定するすべての規約に法的に拘束されることに同意したうえで、お客様がアカウントの作成、または本サービスおよびソフトウェアの使用のみ行うことを認めます。お客様は、本契約を承諾することにより、お客様と Zoom の契約に法的に拘束されます。

1. アカウント情報の共有

   1.1 ユーザー名とパスワードの登録。 お客様は、本サービスおよびソフトウェアへのアクセス、または本サービスおよびソフトウェアの使用を目的とした登録にあたり、お客様ご自身に関する情報の提供を義務付けられる場合があります。お客様は「カスタマーデータ」を含め、かかる情報が常に正確で完全であること、ならびにカスタマーデータになんらかの誤りおよび欠落があったとしても、その責任が Zoom には一切ないことを表明し、かつ保証します。さらにお客様は、本サービスおよびソフトウェアのアクセスまたは使用を目的としたユーザー名とパスワードを選択するよう求められる場合があります。当社は当社の単独の裁量により、かかるなんらかのユーザー名またはパスワードをお客様が変更することを拒否または要求できます。お客様は、お客様のユー

https://web.archive.org/web/diff/20230203175333/20230429122048/https://explore.zoom.us/ja/terms/

Zoomの規約改正とは

3月の規約と8月の規約を比較すると、とくに下記の箇所は全面的に再改訂されていることがわかる。

10. カスタマー コンテンツ

10.1 カスタマー コンテンツ。 お客様もしくはお客様のエンドユーザーは、本サービスもしくはソフトウェアのアクセスまたは使用にあたり、データ、コンテンツ、ファイル、ドキュメント、またはその他の素材（以後「**お客様の入力**」と総称）を提供、アップロード、もしくは送出でき、かつ Zoom は、その独自の裁量によって、または本サービスの一部として、お客様の入力（カスタマー入力と合わせて「**カスタマー コンテンツ**」）の結果として生じる特定の派生物、文字起こし、分析、出力、視覚的表示、またはデータセットをお客様のために提供するか、作成するか、利用可能にすることがあります。ただし、Zoom がなんらかのカスタマー コンテンツを提供すること、作成すること、または利用可能にすることによって、なんらかの方法でなんらかのカスタマー コンテンツを提供するため、作成するため、または利用可能にするために使用した本サービス、ソフトウェア、またはその他のテクノロジーが含むか具現化する、Zoom の占有権のなんらかの譲渡もしくはその他の移転が行われることは決してなく、これらに存在する一切の占有権は Zoom が留保します。お客様はさらに、お客様が Zoom を通じて提供、作成、または利用できるカスタマー コンテンツはすべて、お客様またはお客様のエンドユーザーが、本サービスの使用に関連して使用すること、カスタマー コンテンツについては、お客様がそのすべての責任を単独で担うことを認めます。

10.2 **サービスの生成データ、使用同意。** カスタマー コンテンツには、または Zoom がお客様およびお客様のエンドユーザーによる本サービスまたはソフトウェアの使用に関連して収集または生成する、いかなる遠隔測定データ、製品使用データ、診断データ、および類似のコンテンツもしくはデータ（**サービス生成データ**」）も含まれません。お客様と Zoom の間では、サービスの生成データに含まれるか、サービスの生成データに対するすべての権限、権原、および利益、ならびにこれらにおけるすべての占有権が Zoom に属し、これらを Zoom は単独で保持します。お客様は Zoom がカスタマー コンテンツおよび本サービスおよびソフトウェアの使用状況に基づいて、サービス生成データをコンパイルすること、およびこれらをコンパイルできることを認めます。本サービス、ソフトウェア、または Zoom のその他の製品、サービス、およびソフトウェア、もしくはこれらの任意の組み合わせの、製品およびサービスの開発、マーケティング、分析、品質保証、機械学習、もしくは人工知能（アルゴリズムないしはモデルのトレーニングまたは調整を目的とする場合を含む）、トレーニング、テスト、改良を目的として、または別途、本契約に定められた趣旨で、適用法に許可された範囲および方法を守り、Zoom が任意目的でサービスの生成データのアクセス、使用、収集、作成、変更、配布、処理、共有、メンテナンス、および保管を実行することに、お客様は同意します。上記を実行するにあたって、本契約のセクション 10.2 または本契約中の別の記載に従い、理由は何であれ Zoom のものとならない権限がサービスの生成データ中に存在する場合は、お客様は本記載により、お客様を代表して無条件かつ撤回不可能な形で、サービスの生成データに関連するあらゆる占有権も含め、サービスの生成データに含まれるあらゆる権限、権原、利益、ならびにサービスの生成データに対するあらゆる権限、権原、利益を Zoom に譲渡し、かつかかる譲渡に同意するとともに、お客様のエンドユーザーがかかる権限、権原、利益を無条件かつ撤回不可能な形で Zoom に譲渡し、かつかかる譲渡に同意するよう取り計らうものとします。

10.3 **許可された使用、カスタマー コンテンツ。** Zoom は次の限りにおいて、カスタマー コンテンツの再配布、公開、インポート、アクセス、使用、保管、伝送、レビュー、開示、保存、抽出、変更、複製、共有、表示、コピー、配布、翻訳、文字起こし、派生物作成、および処理ができます。（i）本契約に準拠し、かつ本契約に基づく当社の義務事項を履行するために必要となっているとおりに、（ii）当社の**プライバシー ステートメント** に準拠し、（iii）お客様が承認または指示するとおりに、（iv）法の許すところ、もしくは義務付けるところに従い、（v）当社の**利用ガイドライン** のモニタリングもしくは徹底を含むトラスト＆セーフティ面の目的のため、または（vi）Zoom、Zoom のエンドユーザー、お客様、またはシステムおよびネットワークを含む一般の権限、財産、またはセキュリティを保護するべく。

10.4 お客様のライセンスの付与。 お客様は次の要領で、カスタマー コンテンツの再配布、公開、インポート、アクセス、使用、保管、伝送、レビュー、開示、保存、抽出、変更、複製、共有、表示、コピー、配布、翻訳、文字起こし、派生物作成、および処理にあたり義務付けられるか必要になる、半永久的かつグローバルかつ非独占的かつサブライセンス可能かつ譲渡可能な、ロイヤリティ フリーのライセンスおよび同様のその他のすべての権限を Zoom に付与すること、および本記載により Zoom に付与することに同意します。（i）本サービスのサポートも含め、本サービスをお客様に提供するために必要となるとおり、（ii）本サービス、ソフトウェア、または Zoom のその他の製品、サービス、およびソフトウェア、もしくはこれらの任意の組み合わせの、製品およびサービスの開発、マーケティング、分析、品質保証、機械学習、人工知能、トレーニング、テスト、改良のため、および

ご自身で順守するとともに、お客様のあらゆるエンドユーザーがかかる適用法を順守するよう徹底するものとします。

10. **データ使用、ライセンス、責任**

10.1 カスタマー コンテンツ。 お客様またはお客様のエンドユーザーが、サービスまたはソフトウェアに関連して生成/提供するデータ、コンテンツ、コミュニケーション、メッセージ、ファイル、ドキュメントなどは、これらに付随する文字起こし、レコーディング、出力、視覚的表示物などのコンテンツとあわせて「**カスタマー コンテンツ**」と称されます。

10.2 **許可対象の使用とカスタマー ライセンスの付与。** Zoom は次の理由でのみカスタマー コンテンツに対してアクセス、処理、使用を行います（「**許可対象の使用**」）。（i）本契約に対する一貫性と Zoom の義務の履行およびサービス提供の必要性（ii）Zoom プライバシー ステートメント の遵守（iii）お客様による認可/指示（iv）法律上の必要性（v）Zoom 利用ガイドラインの適用など、法律上、安全上、セキュリティ上の目的。お客様は、許可対象の使用に必要な恒久的、グローバル、非排他的、ロイヤリティ フリーかつサブライセンスおよび譲渡が可能なライセンスおよびその他の権限を Zoom に付与するものとします。

Zoom は、オーディオ、ビデオ、チャット、画面共有、添付、その他のコミュニケーション関連のカスタマー コンテンツ（投票結果、ホワイトボード、リアクションなど）を使用して Zoom またはサードパーティの AI モデルをトレーニングすることはありません。

10.3 お客様のカスタマー コンテンツに関する Zoom の義務。 Zoom は、カスタマー コンテンツの不正な開示やアクセスを防止するために、適切な物理的および技術的な保護手段を維持します。カスタマー コンテンツの不正な開示または不正アクセスが、Zoom の知るところとなった場合、Zoom はお客様に通知するものとします。Zoom は、サービスまたはソフトウェアの提供に関するコンサルタント、契約業者、サービス プロバイダー、サブプロセッサ、および Zoom が承認したその他のサードパーティと連携できるものとします。Zoom は承認済みサードパーティとのカスタマー コンテンツの共有が、適用法に準拠するよう徹底するものとします。

10.4 お客様の責任。 お客様は、カスタマー コンテンツに関連するすべての法律および規則（カスタマー コンテンツの使用、ライセンス付与、生成のためにサードパーティの同意を得ること、およびサードパーティの権利に関する適切な通知を行うことを要する法律など）の遵守について単独で責任を負います。万一コンテンツが本契約の条項または適用法に違反していることを Zoom が知るに至った場合、Zoom にはお客様に一切通知しなくても随時、かかるコンテンツを削除する権限があります。お客様は、本契約で付与されるライセンスやその他の権限の対象となるカスタマー コンテンツの全所有権を保持します。

10.5 サービス生成データ。 Zoom が、お客様およびお客様のエンドユーザーによるサービスまたはソフトウェアの使用に関連して収集または生成する、遠隔測定データ、製品使用データ、診断データ、および類似のデータは「**サービス生成データ**」と称されます。Zoom はサービス生成データに関するすべての権限、肩書、権原を所持します。

11. 適格性、子どもによる使用の制限

11.1 適格性。 お客様は、ご自身が本契約を締結して本サービスおよびソフトウェアを使用できる法定年齢に達していることを認めるものとします。お客様は、ご自身が本契約の定める規定、条件、義務、主張、表明および保証の締結および順守する能力と法的資格が十分に備えていることを認めるものとします。万一お客様が本契約を締結できる法定年齢に至っていないか、またはその他の理由により、本契約を締結し、本サービスおよびソフトウェアを使用する資格を持たないことが、当社の知るところとなった場合、お客様のアクセス権は警告なく終了される場合があります。

11.2 子どもによる使用への制限。 教育機関向け Zoom（K-12）を使用する教育機関の登録利用者（Zoom サービスの説明に定義）を通じて使用する場合を除き、16 歳未満の個人が Zoom を使用することは、意図されていません。

12. お支払いと料金

Zoomの規約改正とは

3月の規約には、かなり詳細な「カスタマーコンテンツ」についての記載があった。3月と8月の再改訂を比べると10条の改訂が大きい。再改訂では内容がかなり簡素化され、タイトルも変更され構成にも違いが目立つ。

2023年3月	2023年8月
10　カスタマー　コンテンツ	10　データ使用、ライセンス、責任
10.1　カスタマー　コンテンツ。	10.1　カスタマー　コンテンツ。
10.2　**サービスの生成データ、使用同意。**	10.2　**許可対象の使用とカスタマー　ライセンスの付与。**
10.3　許可された使用、カスタマー　コンテンツ。	10.3　お客様のカスタマー　コンテンツに関する　Zoom　の義務。
10.4　**お客様のライセンスの付与。**	10.4　**お客様の責任。**
10.5　お客様のカスタマー　コンテンツに関する　Zoom　の義務。	10.5　サービス生成データ。
10.6　お客様の責任、確認、および同意。	

https://web.archive.org/web/diff/20230203175333/20230429122048/https://explore.zoom.us/ja/terms/

Zoom の規約改正とは

10.2 ...機械学習、もしくは人工知能のトレーニングなどの目的で、 ...Zoom が任意目的でサービスの生成データのアクセス、使用、収集、作成、変更、配布、処理、共有、メンテナンス、および保管を実行することに、お客様は同意します。

8 月の再改訂版

Zoom は、オーディオ、ビデオ、チャット、画面共有、添付、その他のコミュニケーション関連のカスタマー コンテンツ（投票結果、ホワイトボード、リアクションなど）を使用して Zoom またはサードパーティの AI モデルをトレーニングすることはありません。」

https://web.archive.org/web/diff/20230203175333/20230429122048/https://explore.zoom.us/ja/terms/

Zoomの規約改正とは

10.4 お客様のライセンスの付与。 お客様は次の要領で、**カスタマー コンテンツ**の**すべての権限を Zoom に付与すること**、および**本記載により Zoom に付与することに同意**します。

機械学習、人工知能、トレーニング、テスト、改良のため、...サービスの生成データおよび匿名化された集計データに関連する Zoom の権限を行使できるように、**権限を Zoom に付与**します。

10.4 **お客様は、本契約で付与されるライセンスやその他の権限の対象となるカスタマー コンテンツの全所有権を保持します。**

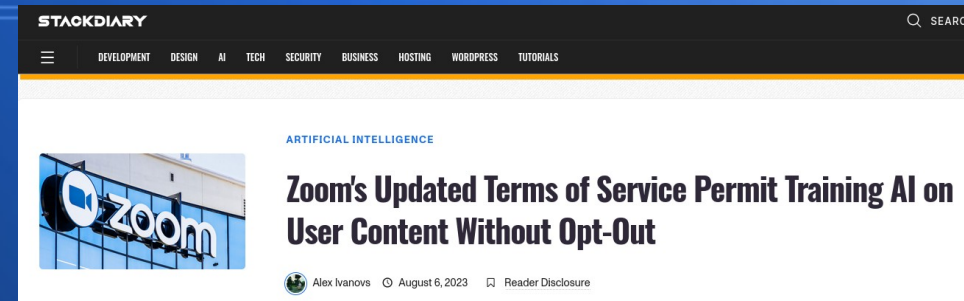
https://web.archive.org/web/diff/20230203175333/20230429122048/https://explore.zoom.us/ja/terms/

Zoomの規約改正への批判

(stackdiary)アレックス・イワノフ「Zoomの更新された利用規約は、オプトアウト(拒否の機会を与えること)なしでユーザーコンテンツでAIをトレーニングすることを許可している。」2023年8月6日
この投稿と、関連するHacker newsの投稿が批判のきっかけをつくる。

「Zoomの[3月に]更新されたポリシーには、サービス生成データに関するすべての権利はZoomのみが保持すると記載されている。これは、Zoomがそのようなデータを「適用法に許可された範囲および方法を守り」、いかなる目的に対しても、変更、配布、処理、共有、維持、保存する権利があるとしている。

注意すべきなのは、アルゴリズムやモデルのトレーニングやチューニングを含め、機械学習や人工知能のためにこのデータを使用する権利が明示されていることだ。これは事実上、オプトアウトのオプションを提供することなく、Zoomが顧客のコンテンツでAIを訓練することを可能にすることを意味している。」

https://web.archive.org/web/diff/20230203175333/20230429122048/https://explore.zoom.us/ja/terms/

Zoomの規約改正への批判

3月の改訂については、EUのプライバシー保護法制を念頭に置いた別の批判もあった。

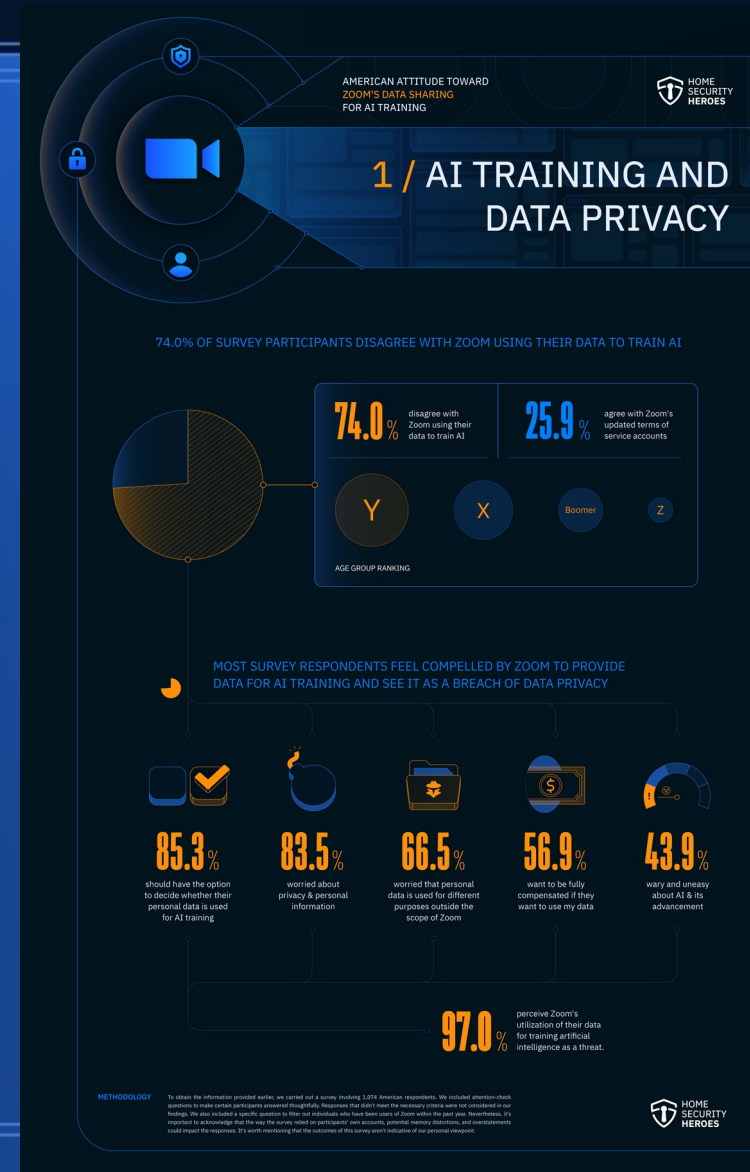
(techcrunch.com)ナターシャ・ローマス「Zoom、AIモデル学習への顧客データ利用をめぐる法的紛争に巻き込まれる」

- 3月の規約では、AIのトレーニングに個人データを利用するなどへの許諾を会議の主催者にしか求めていない。EUの法制度では、会議参加者全員に個別に許諾を求める必要がある。この主催者の許諾を認めたくない参加者は、会議に出席しない、という選択肢しか残されていない。
- 3月の規約はEUのデータ保護法制と抵触する。
- EUでは、個人のデータは譲渡不可能なものとみなすが、米国では譲渡可能とみなして法制度が構築されている。

https://web.archive.org/web/diff/20230203175333/20230429122048/https://explore.zoom.us/ja/terms/

Zoom の規約改正への批判

米国での世論調査
1． 調査参加者の 74% は、 Zoom が AI を訓練するためにデータを使用することに反対している。
2．Zoom に反対している人のうち、 85.3% は自分の個人データが AI のトレーニングに使用されるかどうかを選択できるべきだと考えており、 83.5% はデータ・プライバシーの脅威であると考えている。
3． 回答者の 78.1 %が、事件後に Zoom に対する信頼が低下したと指摘している。
4．Zoom を即座にアンインストールすることを選択した回答者で過去 1 年以内に Zoom のユーザーだった人のうち、 96.2 %が Zoom の競合他社への乗り換えを検討すると回答した。
5．Zoom の釈明に同意しない人の 70 %以上が、釈明は反発があったから行われただけだと考えている。
(homesecurityheroes.com)AI トレーニングのための Zoom のデータ共有に対するアメリカ人の態度)

https://cryptpad.fr/pad/#/2/pad/view/9zEhU0NXyJr6aSrpCAZnD21lO-j99qSZFt2ZCEIXIlU/

今後どうなるか？

このAIの機能を用いると下記の注意が表示される。(Teckcrunchの記事から）

「ミーティングサマリーが有効になりました。

　　アカウント所有者は、機能を提供する目的、およびモデルのトレーニングを含むZoom IQ製品の改良の目的で、Zoomがお客様の入力およびAIが生成したコンテンツにアクセスし、使用することを許可する場合がある。データはZoomによってのみ使用され、第三者が製品改良のために使用することはない。さらに詳しく

　　会議終了後、招待者に会議サマリーを送信する(会議の設定に基づく)。ミーティングサマリーを受け取った人は誰でも、それを保存してアプリや他の人と共有することができる。

　　AIが生成したコンテンツは不正確または誤解を招く可能性がある。常に正確性を確認すること。」

今後どうなるか？

オンライン会議サービスは、会議スペースの提供以上の様々なサービスを統合して提供するようになっている。その結果として、

利用者のニーズに合わせた会議関連のサービスを充実させる。
•民間企業のニーズ
•政府、自治体のニーズ
•教育機関のニーズ
などなど。収益を得られる分野でのビジネスを展開することが優先される。結果として、私たちのような一般の市民や小規模な団体のような儲けにならない者たち（多くは無料で利用したりする）の膨大な利用者については、そのデータを収集して、収益を上げられるような企業や政府のサービスの向上に利用しようとする。

今後どうなるか？

利便性とどう格闘するか

- AI を用いた会議の議事要旨の自動作成などの便利な機能は、事務作業量を大幅に省力化できるために、ニーズが多い。しかし、
- 行政交渉や労働組合の団交、議会の審議、裁判所の審理など相対立する議論の記録などを AI に任せていいのだろうか。
- 会社の採用面接、学校の面接試験、難民申請者との面談など重要な合否判断を伴うような場面で AI を用いることは妥当だろうか。

近い将来、**AI を用いた事務作業が、事務処理の標準になる**と、AI を用いない作業への負担感は大きくなり、かつ非効率とみなされるようになる。これが市民運動や社会運動の現場にも波及して、会議の記録などで **AI を活用することで活動の効率性を上げたい**、という意識が拡がる可能性がある。運動のなかで AI の利用について、一定の約束事を決める必要がある。

今後どうなるか？

個人データへの権利問題

自分に関するデータを企業や政府が取得することはありうる。この、企業や政府が取得した私の個人データの権利は誰に帰属するのか、という基本的な理解で共通認識ができていない。以下の二つの考え方の間のせめぎあいになっている。ａの主張が社会的影響力をもてなければ必然的にｂの主張に沿った技術とルールができる。

a) 企業も政府も私のデータを、私の許諾の下で、特定の目的にのみ使用する権利をもつにすぎず、私のデータを所有することも第三者に提供したり売却することもできない。

b) 企業や政府は、その正当な活動で取得した個人データについて、企業や政府が所有するデータとみなし、データを自由に扱うことができる。

今後どうなるか？

監視社会との関連

一般にサーバーを管理する企業は、サーバーのデータをほぼ無条件で取得可能だ。オンライン会議サービス業者は、会議の内容や参加者についてのデータなど様々なデータを取得可能だ。国によっては、会議室での議論を監視して検閲したり、遮断したり、取り締りの対象にすることもありうるし、すでにそうした事実も起きたことがある。オンライン会議室と生成AIの合体によって、こうした監視社会化の機能を担う危険性もある。

Zoomが天安門関連集会を中国政府の要求で閉鎖

Zoom、サンフランシスコ州立大学でのパレスチナ人ハイジャック犯ライラ・ハーリドの講演をシャットダウン―FacebookやYouTubeも介入

私たちの問題

- そもそもなぜ日本ではZoomの規約問題に注目が集まらなかったのか。
- とりあえずZoomは再度の規約改正で、批判の回避に成功？したようにみえるが、そうであれば、Zoomを使いつづけるという選択について、今一度再考する必要はない、ということなのかどうか。(Zoomが起こしたユーザーを騙すかのような手口は今回が初めてではない)
- Jitsiには生成AIとの連携の機能が今はないが、将来はどうなるかわからない。

私たちの問題

- Zoomで起きた事態を理解した上で、なおZoomを選択する、という考え方がある。代替手段がない場合は仕方のない選択。
- Zoom以外のより好ましいオンラン会議システムへの移行を検討することも必要だ。しかし…
  - Jitsiは使いにくい。トラブルが多い。不便だ...機能が足りない...などの批判をどう受けとめるか。
  - ZoomとJitsiは全くコンセプトも仕組みも違う。このことをどのようにして説明するか。

私たちの問題

　私たちはまだ努力が足りない、と思う。
Zoomが起こした問題を、Zoomを利用している皆が共有する必要がある。
　その上で、今後もZoomを使い続けるかどうか、別のより信頼できるサービスに転換するかどうか、これを皆で議論して決める必要がある。
　もし、Jitsiを選択する場合。Zoomよりもより多くの技術的なトラブルに遭遇するかもしれない。そのときに、このトラブルをサポートする体制がなければ、Jitsiを断念すると思う。
　多くのユーザーにとって、目的は、円滑な会議であって、オンライン会議サービスの提供そのものの問題には関心はないし、それが普通だ。しかし、サービスを提供する側は、むしろサービスのありかたにこだわって、その提供のポリシーを説明する責任がある。

参考資料

以下の資料の翻訳は機械翻訳そのままか、最小限の校正をほどこしたものなので、誤訳などがありえます。参考としてお読みください。

(gizmodo)トップストーリー　Zoom の TOS 騒動とウェブ・プライバシーの未来に意味するもの
https://cryptpad.fr/pad/#/2/pad/view/YHHAbWvfpWGZEjSu6I3KDvbkAfG8b02Qq+wiAtn4Ai4/
(Hacker news) Zoom の弁護士は、この規約改定でひとを騙そうとしている…
https://cryptpad.fr/pad/#/2/pad/view/1T5cl2Ye3eZV0FGDQ2N8yPtPlPqMMDrvymU9iDRDZas/
(Gizmodo)Zoom の TOS 騒動とウェブ・プライバシーの未来に意味するもの
https://cryptpad.fr/pad/#/2/pad/view/OXLW-pmVlhCH-b6IIn7Xc-8jtX+MTAsG0Kak8hHiwIw/
(Vox)Zoom は AI を訓練するためにあなたの会議を利用しているのか？
https://cryptpad.fr/pad/#/2/pad/view/jqzkhraZB52Kv2ZJIt+zpSxdYIYXuD-o9nePSkLPNDo/
(techcrunch.com)Zoom が既存のブランド名を変更し、新しい生成 AI 機能を導入する
https://cryptpad.fr/pad/#/2/pad/view/WaxRvaqpwwWT4chlmK4KiJfu4-2d+eUzhipHufbFNv0/
(techcrunch.com)Zoom、 AI モデル学習への顧客データ利用をめぐる法的紛争に巻き込まれる
https://cryptpad.fr/pad/#/2/pad/view/M4DeTIKD7DRmznCnOj6CGKEoumtlIsH4hgQwIgw2b6Q/
(nbcnews)Zoom は利用規約で AI のデータ収集に関する文言で引き起こされたプライバシーの懸念に対処
https://cryptpad.fr/pad/#/2/pad/view/YnGl1dATTLnuX-jqp7NsFoh-MXsU0sm1JBwyZEl2ksA/
(homesecurityheroes.com)AI トレーニングのための Zoom のデータ共有に対するアメリカ人の態度
https://cryptpad.fr/pad/#/2/pad/view/9zEhU0NXyJr6aSrpCAZnD21l0-j99qSZEt2ZCEIXIlU/

次ページへ

参考資料（続き）

以下の資料の翻訳は機械翻訳そのままか、最小限の校正をほどこしたものなので、誤訳などがありえます。参考としてお読みください。

(stackdiary)Ƶoom の更新された利用規約は、オプトアウトなしでユーザーコンテンツで AI をトレーニングすることを許可している
https://cryptpad.fr/pad/#/2/pad/view/ƶ0oeSX0xdFksmF4fql8Hnle+AlXk4Q3UErvk-CQqNdc/
(PCmag)Ƶoom が規約を（再び）改定し、 AI モデルの訓練にあなたのデータを一切使用しないと発表
https://cryptpad.fr/pad/#/2/pad/view/G9WLg2-ML6ByJoe7UTF6BHoLAr+kM8ldhJs5LlEĐPPU/
(PCmag)Ƶoom の AI 実験が裏目に出てユーザーの信頼を失う
https://cryptpad.fr/pad/#/2/pad/view/H9gTukGMIrJcHqOm3YbsET7Bnw-vƶGfyqxPTB47ncSM/
(CNET)Ƶoom のプライバシーリスク： ビデオチャットアプリは、あなたが思っている以上に多くの情報を共有しているかもしれない
https://cryptpad.fr/pad/#/2/pad/view/7Sy6KTJWbhsQWqfOByMQfC6f96tWN+a+B80t2Xdmia4/
(the Verge)Ƶoom 、新しい AI ツールはコンテンツの所有権を奪わないと語る
https://cryptpad.fr/pad/#/2/pad/view/gmFLCPOQsivMaxn6Sƶ3txwF53W0pgOXq68ƵqWtƵFeCE/
(ƵOOM)Ƶoom の利用規約と慣行が AI 機能にどのように適用されるか
https://cryptpad.fr/pad/#/2/pad/view/fp8ymPlxĐ12ETX1qPlG7+3UqtKSaPXwFUOPBƵqhG+O8/